



2026年3月6日

報道関係者各位

### 社労士が現場で見た「働き方改革」

#### —労働時間は改善が進む一方、意欲・職場文化は“運用次第”で差が拡大—

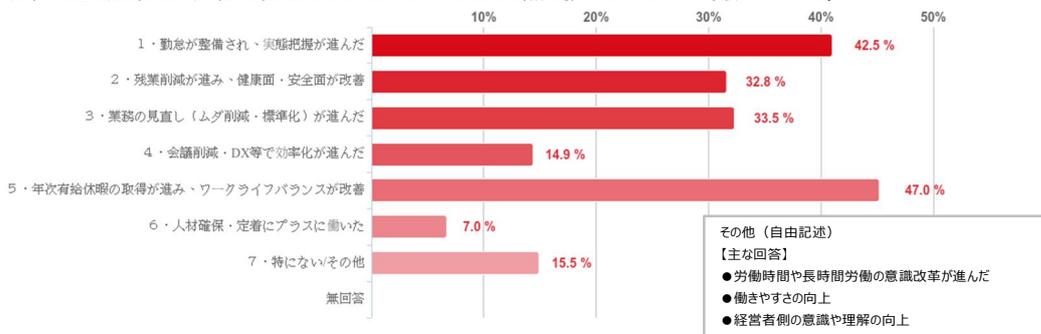
全国社会保険労務士会連合会社会保険労務士総合研究機構（以下「社労士総研」）は、働き方改革が労働意欲・労働時間・職場文化に与えた影響に関する調査を実施し、社労士の実務の視点から、働き方改革が労働意欲・労働時間・職場文化に与えた影響を整理しました。

#### ◆社労士が見た「効果」と「課題」

##### ■「効果」：長時間労働の是正と業務見直しの前進

働き方改革により、年次有給休暇取得の促進や勤怠整備・実態把握が進み、長時間労働の是正等が進んだ。

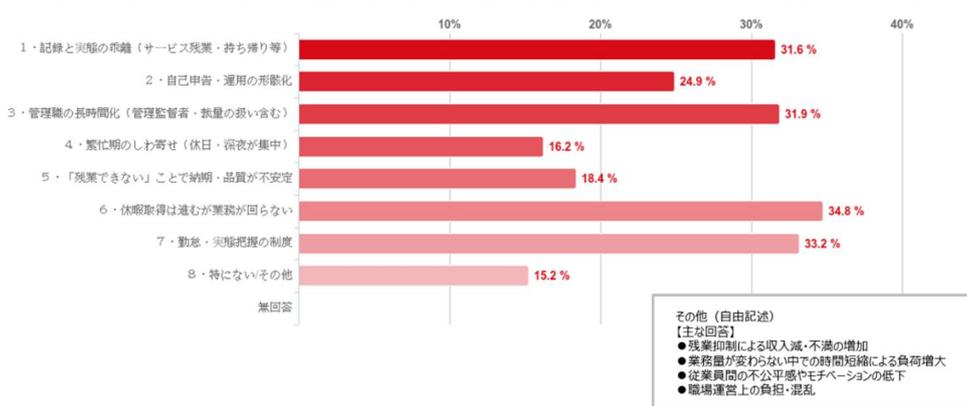
●働き方改革関連法施行後、労働時間に関して、良くなったと感じる点を教えてください。（最大3つまで）



##### ■「課題」：現場運用の負荷、業務の滞り、手取り減への不満

現場運用・職場の変化が追いつかず、管理業務の負担増や人手不足によるしわ寄せが発生、残業の抑制による収入減になり、「働きやすさ」の実感が得にくい構造的問題が明らかになった。

●働き方改革関連法施行後、労働時間に関して、負担が増えた点/顕在化した課題について教えてください。（最大3つまで）



#### ◆調査概要

調査期間：2026年1月27日(火)～2月9日(月)/対象：社労士(回答数：690人)/方法：WEB

※本調査は社労士の現場視点を整理したもので、連合会の公式見解を示すものではありません。

#### ◆本調査結果 公表ページ

<https://www.shakahokenroumushi.jp/information/tabid/201/Default.aspx?itemid=7996&dispmid=648>



<本件に関するお問い合わせ先>

全国社会保険労務士会連合会 社会保険労務士総合研究機構

E-Mail: [souken@shakahokenroumushi.jp](mailto:souken@shakahokenroumushi.jp)

URL: <https://www.shakahokenroumushi.jp>